



2016 年 5 月 6 日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03 - 5475 - 6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディコミュニケーション センター

SUPER GT 第 2 戦富士にて 2 台の Audi R8 が完走

- ・ Audi Team Hitotsuyama は予選 6 位の好位置から決勝 7 位、10 ベスト入り
- ・ Team TAISAN SARD は今戦より新型マシンを導入。粘り強い走りで 15 位完走

アウディ ジャパン株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：斎藤 徹）は、新型 Audi R8 LMS で SUPER GT の GT300 クラスに挑戦するカスタマー（プライベート）チームを支援しています。予選 5 月 3 日、決勝 4 日に富士スピードウェイで開催された SUPER GT 第 2 戦「FUJI GT 500km RACE」には #21 Audi Team Hitotsuyama（アウディ チーム ヒトツヤマ）と #26 Team TAISAN SARD（チーム タイサン サード）の 2 チームが新型 Audi R8 LMS で参戦、ともに完走しました。

Audi Team Hitotsuyama は、2012 年より Audi R8 LMS で GT300 クラスに挑戦を続けており、ドライバーは昨年と同じくリチャード ライアン選手と藤井誠暢選手のコンビ。今年はマシンも市販モデルのフルモデルチェンジに合わせて新型に、またタイヤメーカーもダンロップへと変更になり新体制でレースに望んでいます。予選では 6 番手グリッドの好位置を獲得。第 1 ドライバーはリチャード ライアン、第 2 ドライバーが藤井誠暢、第 3 ドライバーを再びリチャード ライアンとレースを 3 スティントに分け、2 回のピットストップを経て周回数を競いました。両ドライバーとも大きなミスもなく約 3 時間のレースをコンスタントに走り切り、計 101 周、7 位でポイントを獲得しました。

Audi Team Hitotsuyama 一ツ山亮次チーム代表のコメント

「昨年までの旧型マシンにとって富士は苦手なコースだったこともあり厳しい戦いを想定していました。スタート時の路面温度が高くタイヤに負担が大きいため、第 1 スティントを短めにして早めにドライバー交替を行い、第 2,3 スティントを長く走る作戦をとり、それがうまくいきました。苦手だった富士での 7 位は新型のポテンシャルの高さを感じさせるもので今後のシーズンが楽しみです」

リチャード ライアン選手のコメント

「ニューマシンはダウンフォースが高まり、ギアボックスのシフトスピードが速まるなどあらゆる面で改善されています。この富士スピードウェイでは旧型よりも 1 秒から 1.5 秒くらい速くなっています。予選はうまくいきましたが、決勝は気温が高くタイヤにとっても初めてのコンディションで第 1 スティントは少し難しい展開でしたが、とにかくトラブルなく完走できたことがうれしいです。次戦は小さな R のコーナーが多く Audi R8 LMS 向きの菅生なので、さらに上位を狙いたいと思います」

藤井誠暢選手のコメント

「相性のあまり良くない富士でノーミスで走り切ることができ、7 位は現時点では良い結果であると思います。新型マシンは BoP（性能調整）もあってストレートスピードが少しもの足りないのですが、ブレーキ性能もコーナリング性能もバツグンによく、その点にはとても満足しています。来月中旬には菅生でテストがあるので、そこでよりマッチングのいいタイヤの開発を進めていく予定です。Audi R8 LMS にとって菅生はとても相性のいいサーキットですのでぜひ期待しててください」

Team TAISAN SARD は、昨シーズンレース活動を休止していたタイサンが復活を遂げ、現在 GT500 クラスにも参戦しているサードとタッグを組むという、日本のレース界を牽引してきた伝統的な 2 チームのコラボレーションによって生まれた新チームです。マシンのゼッケンナンバーはタイサン伝統の #26 を使用。千葉泰常代表は、「わたしたちは 1983 年にレース活動を始めて以来、通算 73 勝、SUPER GT

においても GT500 で 2 勝、GT300 で 10 勝を遂げてきた実績があります。ぜひこの新たなチームと Audi R8 LMS で SUPER GT 13 勝目、通算 74 勝目をあげたい」と意気込みを語っています。

ドライバーはベテランの密山祥吾選手と今年 SUPER GT 初参戦となる元嶋佑弥選手の 2 名。開幕戦の岡山には新型 Audi R8 LMS が間に合わず旧型でのエントリーとなった Team TAISAN SARD ですが、この富士でようやく新型での参戦となりました。車両が今回の富士戦直前に到着。十分なテストもできず迎えた本番ながら予選通過 13 位、決勝はスタート時に不運なトラブルに見舞われながらも、後半戦はルーキー元嶋選手が最終ラップまで自己ベストを更新し続けるなど堅調な走りをみせ、100 周、15 位完走となっています。

Team TAISAN SARD 近藤尚史チーム監督のコメント

「スタート直後にリアをぶつけられてしまい、バンパーとディフューザーが壊れてしまいました。それが要因でタイムロスをしてしまったのが惜しまれます。ただ、届いたばかりのマシンで Q1 を突破し、これだけのレースができるのですからこの新型 Audi R8 LMS には相当な実力があると思います。10 位以内も十分に狙えるポテンシャルを感じており、次はもっと上位を狙っていきます」

密山祥吾選手のコメント

「まだテストも十分ではない状態ですが、新型 Audi R8 LMS は制御がきめ細かく、洗練されておりすぐに順応することができました。今日は気温も路面温度も高く、いくつか課題はありましたがこのデータをもとにこれからさらにタイヤのセッティングを煮詰めていきたいと思っています。元嶋選手も新人ながらも速いドライバーで期待できますし、次戦の菅生は個人的にも一番好きなコースなのでとても楽しみにしています」

元嶋佑弥選手のコメント

「今回はこのレースでのフリー走行が実質的なシェイクダウンのような状況でしたが、それでもすぐにブレーキやダウンフォースの面で新型 Audi R8 LMS の戦闘力の高さを感じました。いきなり Q1 を通過できたのもその実力の表れだと思います。今日は特に第 3 スティントではタイヤの性能劣化も少なく最後までプッシュし続けることができました。これらのデータを次に活かしていきたいと思っています」

SUPER GT 第 3 戦は 5 月 21～22 日、九州・大分県オートポリスサーキットにて開催予定でしたが、熊本地震により影響で中止となりました。被害に遭われた被災地域の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

次戦の SUPER GT は 7 月 23～24 日、宮城県スポーツランド SUGO にて開催予定です。

アウディは、ハイブリッドレーシングカー Audi R18 でのルマン 24 時間レースをはじめとする世界耐久選手権 (WEC)、Audi RS 5 DTM で参戦する DTM (ドイツツーリングカー選手権)、そして GT3 レースカー Audi R8 LMS を世界中のプライベートチームに供給参戦するなど、幅広いモータースポーツ活動を通じ、今後も革新、洗練と並びブランド DNA のひとつであるスポーツイメージを高めてまいります。